



くみはまだより

回覧

令和3年7月10日 発行：久美浜市民局（69-0716）

<R3.7.10号>

地域おこし協力隊員、募集中！ ～かぶと山・一区・佐濃の3地域～

京丹後市では、7月16日（金）まで、人口減少に伴う過疎化・担い手不足など本市の抱える課題解決に向け、地域とともに活動いただける「地域おこし協力隊」を募集しています。

これまで久美浜町内では、二俣・奥山地区に藤山亮大隊員（木材利用の普及推進）、一区に藤原可苗隊員（地域振興及び情報発信）、湊地区に吉田浩士隊員（観光漁業）が入り、活動を行ってきました。

今回は、かぶと山公園、一区及び佐濃の3地域で、次のとおり募集しています。知り合い等で、興味がありそうな方がおられましたら、ぜひお声がけください。

活動地域	活動メニュー
久美浜湾周辺及びかぶと山公園	①かぶと山公園を中心とした久美浜エリアの観光活性化の支援 ②かぶと山公園キャンプ場及び虹の家の運営管理補助
一区地域	①カヌー体験やカヌーイベントの支援、ツアー企画等、カヌーによるまちづくり ②久美浜一区自治会での情報発信や、“明日の久美浜”一区プラン等による地域の活性化
佐濃地域	①茶屋あそび石や奥山自然たいけん公園等、佐濃地域の地域資源の活用 ②佐濃自治会での情報発信や、各種団体との連携等による地域の活性化



今秋以降、各地域で活動を始めていただく予定です。

詳しくは、右のQRコードからご覧ください。

<https://smout.jp/plans/4403/>



丹後緑風高校で、地域おこし協力隊員が活躍中！



丹後学やキャリア教育など、小中学校で醸成してきた郷土への思いをさらに深化させ、地元定着率の向上を図るため、高校生と地域の架け橋となるコーディネーターとして、3月1日から、李瓊瑞（りけいずい）さんが着任されています。

李さんは、中国青海省の標高1,500m以上の高原地域出身で、「海のそばに来るのが初めてなので、網野の八丁浜に連れて行ってもらったときには感動しました。かぶと山には歩いて行く必要があるのでまだ行けていませんが、一度行ってみたいと思っています」と話しておられました。

現在は、丹後緑風高校の商業分野（網野学舎）と農業分野（久美浜学舎）の連携による6次産業化を目指した学習活動における企画・運営業務や、高校生と地域をつなぐ地域創生教育・キャリア教育事業の企画・運営業務、地域国際交流の機会創出及びこれらの業務の情報発信業務に携わっておられ、地元企業への商品販売の際には、生徒が作ったマドレーヌのパッケージのロゴ（右）のデザインも手掛けられています。

今後は、旧海部小学校内に設けられた海部Kitchenの活用や課題研究の授業を軸に、野菜の付加価値を付けるための栽培方法の研究、丹後緑風オリジナルスイーツの開発、B級品を用いた農産物の加工等の支援を行うとともに、「“地域と高校とをつなぐ”仕組みを作っていきたい」と意気込みを語られました。



久美浜湾周辺をおもしろくするワークショップ開催！



久美浜まるごと実践会議では、アメニティー久美浜公園を入口として、久美浜全体でにぎわいを創出できるように、将来のあるべき姿について意見交換する「久美浜湾周辺をおもしろくするワークショップ」を行っています。

これまでに2回ワークショップを行い、久美浜湾周辺の魅力ある資源をリストアップするとともに、どう活用していくか議論し、テーマごとに具体的なプランづくりに取り組みました。

最終回となる第3回では、これまでに出た資源の活用プランについて、より実現性のあるものとなるよう具体化していくこととしています。

日時：7月21日（水）19時30分から21時まで
場所：久美浜庁舎2階大会議室

最終回のみ参加も可能ですので、参加を希望される方は、事務局（久美浜市民局：69-0716、kumihama-shimin@city.kyotango.lg.jp）まで、7月19日（月）までに、電話又はメールでお申し込みください。



一区水源の森づくり

6月26日、引土浄水場奥の水源の森で、森林整備活動が行われました。

これは、久美浜一区自治会が、水源となっている森を守るために毎年夏と秋に行っているもので、当日は自治会役員のほか、峰山高校生や森林サポーターもボランティアとして参加し、広葉樹林の下草刈り作業や、獣害防止ネットの補修作業を行いました。

谷口自治会長は、「秋の作業の際には、地元の小学生も参加予定で、自然の大切さや森林の機能などについて勉強してもらおうきっかけにしたい」と話しておられました。

久美浜まるかじりまつり 中止

6月28日、久美浜まるかじりまつり実行委員会の役員・事務局合同会議が行われ、本年度の久美浜まるかじりまつりは、新型コロナウイルス感染症の関係で、具体的な実施計画が立たないため、やむを得ず中止することとなりました。

あわせて、来年度以降の内容についても協議され、イベントが継続して開催できるよう、会場の変更やフリーマーケットの出店者を市内の方に限定するなど、規模縮小も含めて検討していくこととなりました。



フルーツトレイル、今年も開催

今年も7月上旬から10月末まで、「京丹後フルーツトレイル」が開催されます。

今年は、いえき農園、うみのみえる丘 白岩恒美農園、Mikke 白岩栄一農園、山野農園（網野町）、くみはまSANKAIKAN及びCULOCOが参加されます。

詳しくは、右のQRコードから、「京丹後フルーツトレイル」のFacebookページをご覧ください。

